

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

プロジェクト名	新たなまちづくり・産業育成プロジェクト		実施期間	平成30年度	テーマ	活力あるまちづくり	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>全国的に少子高齢化、人口減少が進み、大都市への人口集中が加速しているが、本市においては、豊かな自然と優れた交通利便性に加え、「安心・安全な暮らしの創造」と「子育て支援の充実」を柱としたまちづくりを進めてきたことにより、人口の増加が続いている。しかし、社会経済情勢の変化により、近年、市内の事業所数、従業者数、製造品出荷額等は減少傾向にある。</p> <p>本市には、大住工業地区、田辺西工業地区及び草内工業地区と、3つの工業地区があり、それぞれの工業地区には、ものづくり、物流、食品など、多様な業種の企業が集積している。平成29年4月には新名神高速道路の城陽・八幡京田間が開通し、さらに令和5年度には、同道路の全線開通により、本市は高速道路ネットワークのハブ的な立地環境となることから、工業系土地利用の需要が一段と高まることが見込まれる。こうした開発インパクトを生かし、新たな企業の立地を促進していく必要がある。</p> <p>また、本市には同志社大学の理工学部が集中する京田辺校地があり、高度な研究活動や研究設備の充実が進められており、豊富な知的資源が存在している。加えて同校地には、独立行政法人中小企業基盤整備機構によって、大学発ベンチャーを育成するための同志社大学連携型起業家育成施設（D-egg）が整備されているが、市内企業との有機的な結び付けにうまく活用できていない状況がある。また、企業同士をみても、アンケート・ヒアリング調査結果によると企業間同士の取引が少なく、関わりも薄いことから、産学連携や企業間連携の推進、強化も合わせて取り組む必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>人口動向や少子高齢化の進行、市街地の拡散といった課題に対応するため、効率的で機能的なコンパクトシティの形成に向けた取組みを推進するとともに、中心市街地のさらなる魅力アップに向けて市街地整備に向けた事業手法の検討や実現性の検証を行う。</p> <p>「新名神高速道路」の開通による広域交通の利便性を生かした企業立地拡大への取組みを支援する。</p> <p>また、28年度より開催されているツアー・オブ・ジャパン京都ステージの成功に向けた取組を強化し、地域の活性化を図る。</p>							
	総事業費（千円）	100,665	本年度事業費（千円）	41,248	交付金額（千円）	14,441		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	新田辺駅東地区まちづくり事業	交付対象事業	新田辺駅東地区について、事業区域の設定、推進母体、事業手法等を検討する。			基本構想、現地測量等		
	農地耕作条件改善事業	関連事業	東地区の農地について、暗渠排水等の整備による乾田化を実施し、農地耕作条件を改善することで、生産の多様化と拡大につなげるもの。			乾田化施工面積4ヘクタール		
	「ツアー・オブ・ジャパン」京都ステージ開催事業	関連事業	国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」京都ステージの大会の成功に向けた取組を強化することで、大会が成功し、地域の活性化を図るもの。			来場者数5.3万人		
	スタートアップ京田辺創造支援事業	関連事業	産学連携コーディネートや市内インキュベーション施設を活用したトータルサポートにより、新産業の創出等新たな事業者の拡大を図るもの。			産学連携コーディネーターの企業訪問件数：129件		
	中小企業成長支援事業	関連事業	競争にうち勝つ強い中小企業育成のため、「強み創造」「経営力UP」の観点から、新製品の開発や国内外展示会への出展、人材確保の支援等を行うもの。			成長支援、新製品開発支援、展示会等出展支援、連携開発支援等を実施		
住民 協働 事業	大住工専地区拡大支援事業	交付対象事業	市北部の大住工業専用地域への企業立地を図るため、組合設立に向け必要となる計画策定等を支援するもの。			組合設立		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

成果指標①	成果指標の目標数値	販路開拓支援事業による商談件数 目標：212件		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	実績：198件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね目標を達成できているため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	産学コーディネーターの企業訪問件数 目標：260件		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	実績：129件
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標件数には達していないものの、質の高い支援等を行えている	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	新田辺駅東地区まちづくり事業や大住工専地区拡大事業と行った、まちづくりのための事業と並行し、産学連携のための施策や企業へのサポートを進めることで、ハード・ソフト両面での事業を推進できた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	ハード面だけの施策ではなく、既存の市内業者等の成長支援を進めることで、市内産業の底上げを図れている。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果				
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果				